

法政大学工学部マンドリンクラブ OB・OG 会報

HTMC 通信

2018 年 11 月発行

会長挨拶

芸術の秋、紅葉の秋、そして定演の秋、胸がわくわくする今日このごろ
マンドリンクラブ OB・OG 会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げ
ます。そして現役部員の皆様には第 55 回定期演奏会が近づき何かと忙しい
日々を過ごしていると思います。

OB・OG 会として今年で 15 回目になる親睦旅行が 11 月 6 日から 7 日にか
け 1 泊 2 日で愛知県知多郡美浜町の「かんぽの宿」であり、昔のマンドリンクラ
ブの仲間が海を見ながら思い出話や近況報告や何々が上手になったとか下手にな
ったとか腕自慢やお国自慢に盛り上がり自然にお酒も進み、秋の夜が更けての
も忘れることもあります。

そして最大のイベント、マンドリンクラブ第 55 回定期演奏会は 5 年に一度の
OB・OG との合同演奏会もあり、11 月 24 日（土）武蔵小金井駅南口の小金井宮
地楽器ホールで開催されます。3 年生にとっては学生時代の思い出、青春の思
い出になるよう若い情熱と名演奏を期待せています。

また現役部員と OB・OG の合同演奏では演奏曲目「天国と地獄」の序曲に自
然と目が留まります。かんかん踊りで有名なこの演目は 35 年前の昔（1983 年
（昭和 58 年）7 月 21 日）二期会公演を新宿文化センターでの感動が蘇ります。
なかにし礼とコント 55 の萩本欽一の共同演出、コシノジュンコの衣裳の異色の
スタッフ。立川清澄、島田祐子、中村健、斎藤晶子ら二期会のオペレッタ豪華役
者が顔をそろえ、さらに坂上二郎がゲスト出演し[アルカディアの王子の歌]の素
直な歌いまわしが聴き所になり、歌い終わると二郎ちゃん二郎ちゃんの大喝采
であった。二郎ちゃんは 4 年前に「こうもり」でもフロッシュ役でも二期会の舞
台に出演しており、このパロディ・オペレッタの風刺精神を強調して見せたとか

ろが共同演出の魅力で面白くさらに大衆化への成果を上げた。

オペラ、オペレッタに私が出会ったきっかけはNHK ホール（渋谷）の[柿落とし]の初日イタリア歌劇団[アイダ]で衝撃を受けた（1973 年（昭和 48 年）9 月 8 日<土>）。声楽とオーケストラ合唱、衣裳、舞台装置の素晴らしさ、総合芸術である。その後はオペラ好きの友人と東京のホールに何度も足を運び、オペラのボーカルスコアを買い求め自宅でスコアを見ながらオペラを聞いたり、見たりして理解を深めた。イタリアなどヨーロッパに関心が高まり現地に足を運び今も継続している。

音楽は始めイタリアで学問となった芸術で、声楽が基本であったため、イタリアの音名（ド、レ、ミ、ファ〜）は歌うに良く、日本では歌う時には主としてイタリア呼びの音名が用いられている、速度記号（Andante 等）、強弱（cresc 等）、表情（dolce 等）等々イタリア語が主である。ドイツ呼び（C ツェー、D デー、E〜）は音組織を明確にするのによいので、個々の音を指すときにはドイツ名を使っている。

また、イタリアは楽器政策でも先駆者でヴァイオリンはミラノから南東 80km のクレモナ町でアンドレア・アマーティが 1570 年頃、現在用いられているタイプのヴァイオリンを生み出した始祖である。ピアノ原型もイタリアのフィレンツェ町のバルトロメオ・クリストフォリと言われていて、現在のハンマー式で 1698 年である。

そしてマンドリンもイタリアが発祥の地で r が、ピアノのように弦を打たず弦をはじき、マンドリンはピックで弦をはじくのでチェンバロとマンドリンもほぼ同じ時代と考えられる。およそ 1570 年前後だろうか？1756 年馬絵のモーツァルトは子供のころはチェンバロやクラヴィコードを演奏してヨーロッパを回ったが、成人した頃はピアノを用いている。ピアノが生まれてから普及するまで 7〜80 年要している。

撥弦楽器のギターは指頭で弦をはじきデルケートな発音方法で、最も原始的な発音様式である。このことから指頭で弦をはじく楽器が、楽器として最も長い歴史を持った楽器であるが、時期と場所は特定できないほど古い。ギターはスペインの音楽とともに生き続けて今日に及んでいる。

日本では、マンドリンといえば古賀政男（明治 37 年生れ）が元祖だろう。古賀政男は六男一女の五男で、福岡県の現在の大川市に生まれ、父の死後、兄を頼って家族で渡鮮。日本統治時代の朝鮮の行政区域の京城（現在のソウル特別市にあたる）の善隣商業時代、四男の兄より、マンドリンを贈られたその音色に陶醉した。大正 11 年 3 月同校卒業へとつながり、そして永遠の大作曲家へと飛躍してゆくのである、その後、各大学でもマンドリンクラブが次々に創設された流れになる。古賀政男記念博物館には最初に手にした楽器の大正琴、四兄から送られ

たマンドリン、愛用のギター等展示されている。

だいぶ協道に逸れたが、いろいろの経緯をたどるのも楽しいではないか

この会報で皆様の考え、主張、思い出、自慢話、意見等々の交流の場として相互親睦の絆が深まり、マンドリンクラブ OB・OG 会がますます発展することに期待します。

4 期 市 倉 皖 示
平成 30 年 9 月 17 日

部長挨拶

今年、わが法政大学工学部マンドリンクラブは創部 55 年を迎えました。新入生は 12 名入りまして、11 月 24 日(土)に行われる第 55 回定期演奏会にむけてひたむきに音楽と向き合いながら、楽しく日々練習に励んでおります。年々、演奏会に足を運んでくださるお客様は増えていますが、まだまだ空席が目立っていると感じています。今後もお客様の数を増やすのが課題だと考えております。

先日行われた定期総会では今年の 11 月 24 日(土)に行われる第 55 回定期演奏会（OB・OG 合同演奏会）や、今後の演奏会、法政マンドリンクラブとの交流検討など、今後について話し合いを行い、打ち上げでは食事をしながら現役部員と OB の皆様に楽しく会話をし、とても有意義な時間を過ごしました。来てくださった OB の皆様に感謝申し上げます。

これからも私たちはお互いを高めあいながら演奏に磨きをかけ、演奏会に来てくださるお客様に感動を与えられるよう努力していく所存です。

最後になりますが、HTMC を、引き続き OB・OG の方々に支えていただければ幸いです。

皆様のご来場を部員一同、心よりお待ち申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 菊田大輝

現役部員の活動状況

現在の部員の人数は、4 年生 10 人、3 年生 5 人、2 年生 9 人、1 年生 12 人の計 36 人です。授業のある平日は週に 3 回の練習日を設け、放課後の 19 時から 21 時まで練習しております。9 月上旬には群馬県尾瀬戸倉で 6 日間の夏合宿を

行い、朝9時から夜12時まで練習しました。また毎年ゴールデンウィークには他大とのジョイント演奏会を行い、来年度は法政大学マンドリンクラブと一緒に演奏します。3年ぶりに再びHMC&HTMCによる演奏会を披露いたしますので、是非楽しみにしておいてください。他にも部内演奏会や学園祭の公開練習など、様々な場面において活動しております。

ホームページには演奏会情報や定期総会や親睦旅行についてなどを載せています。ぜひご覧ください。

また、現役部員への所連絡は次期部長の清水までお願いします。

HP アドレス：<http://htmc.webcrow.jp/>

E メール（清水美那子）：minako.shimizu.5y@stu.hosei.ac.jp

HTMC 通信では OB・OG の皆様の原稿をお待ちしております。

現役時代の思い出や部員に向けてのメッセージなど、どんな内容でも構いませるのでふるってご応募ください。HP 内のメールまたは上記の E メールまで連絡をお願いします。今回は投稿していただいた2通の原稿を紹介いたします。

懐かしき思いで

私が工学部土木工学科に入学したのは、昭和40年です。

マンドリンクラブに入部した経緯は、50周年記念誌で述べた通りなので、土木工学科を選んだ理由に触れてみたいと思います。

私は小学校時代より図画工作が大好きで得意としていました。父親に無理を言って大工道具一式を買ってもらったことを覚えています。中学、高校に進むにつれて、巨大構造物をこの手で作ってみたいと思うようになり大学は土木工学科を選びました。卒業後はゼネコンに入り、ダム屋として好きな仕事に携わることができ大変満足しています。現在は中堅ゼネコンに移り、来年の3月で建設業界50年になります。

そんな中で、ふとしたときに思い出すのは、楽しかったマンドリンクラブ現役時代の思い出です。その一つは、仙台での初めての夏合宿でした。伊達正宗の菩提寺である瑞鳳寺に泊まり込み、一生懸命練習に励みました。その中で、良き先輩、同僚との出会いが出来、それが72歳になるこの歳になっても、お付き合いさせていただいています。

また。2 年生の夏休み、山口県出身の同期入部の N 君のおばが、山口県室積新開の光海水浴場で海の家をやっている、そこに同期入部の仲間と遊びに行ったことも、良き思い出です。海の家に泊めてもらい、昼は海水浴をしたり、近くにある会社のヨット部の人達と親しくなり



ヨットに乗せてもらったり、ときには夜、持ち寄った楽器で、海の家広場でアンサンブルをしたこともありました。それに合わせて皆がダンスをしたり楽しいひと時でした。楽しく過ごした 10 日間は、あっという間に過ぎてしまいました。まじめに練習しなかったせいか、遊んだことばかり頭に浮かぶのですが、マンドリンクラブに所属していた時期に経験したことが、その後の人生の支になっているのは確かです。

それにいくつになっても、OB 会で仲間と会おうとその時代に戻る！

若き日に戻る！なんと不思議なことか！？

マンドリンクラブの更なる発展を、お祈りいたします。

5 期 佐藤秀夫

思い出

昭和 39 年、工学部の校舎が小金井に移転新築されて初めての入学であった。校舎はまだ一部工事中だった。東小金井駅はまだ開業されておらず、しばらくは武蔵小金井駅よりバスに乗り緑町で降りた。登校した日に色々なサークルが勧誘をしていた。興味を引いたのが航空部、自動車部だった。マンドリンクラブも

勧誘をしていた。高校時代、ギターマンドリンの同好会を立ち上げたこともあり、多少の興味はあった。声を掛けられた方が同じ長野県出身の小林先輩だった。勧められ、同郷のよしみで説明だけでも聞いてみることにした。案内をされた教室にはすでに3人程希望者がいた。ギター、マンドリンが置いてあり、一人机に腰掛けギターを弾いていた人がいた。かなり上手かった。後に指揮を担当する祢占(ねじめ)君だった。クラブの説明を受け、しばらくやってみることにした。高校時代ギターだったのでギターをやることにした。そこで最初のカルチャーショックがギターの弦だった。当時ギターの弦といえばスチール弦(鉄線)しか知らず、ナイロン弦は見たことも、認識もなく、田舎の楽器屋ではナイロン弦のギターは見かけなかった。当然高校のギタマンでもスチール弦のギターだった。入部するにあたり弦のことを聞いてみたら先輩に弦だけナイロン弦に張り替えればとりあえず使えるといわれた。後日、ナイロン弦を買い張り替えてみると柔らかい良い音がしてとても弾きやすく、よけいにギターが好きになった。しばらくしてアルバイトをしてギターを買い換えた。

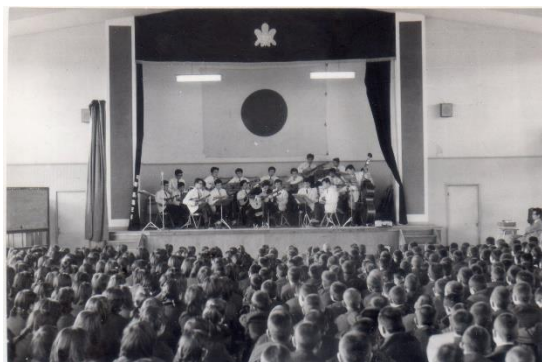
その頃、様々な団体の主催でダンスパーティー(ダンパー)がよく行われていた。先輩に誘われたが、ダンスといえば当時フォークダンス位しか知らないので断ったが、くっついて適当に動いていれば良いからと、強引に誘われ断り切れずに行ってみた。同期の者も何人かいてそれなりに踊っているではないか、第二のカルチャーショックだった。田舎者は全く踊れず終わるまで壁の花でみじめな思いをした。ダンスを仲間に教えてもらうのは何となく気が引け、ダンスを教えてくださいと探したら三鷹の駅前にあった。そこでジルバ、マンボ、ワルツ、ブルース、ルンバ、タンゴと一通り教わり何とか踊れるようになり、それからはダンスパーティーも進んで行くことができ楽しかった。やっと都会の学生になった気がし、チョット嬉しかった。当時はダンスパーティーといえばほとんど社交ダンスだった。まだ、ゴーゴー、ツイストはあまりやっていなかった。二年生になり、ダンスが出来ず私と同じ思いをしている新入部員を地下の廊下でダンスの講習会を何回かし教えたことを思い出します。



最近写真の整理をしていたら懐かしい写真が出てきた。マンドリンクラブの活動とは別に同期の部員でバンドを組み練習をした。バンドの名前は「ザ・シックスプラネッツ」写真は昭和40年11月の工学祭でユースホステル部の喫茶コーナーで演奏した時のもので、左よりドラム井口君、サックス山崎君、サックス吉野君、ギター瀬川、ギター大和君、ベース

松本君だった。当時一つ上の先輩たちも「ザ・サンダース」というバンドを組んでいた。ダンスパーティーで演奏をしたり、チョットしたステージに出させてもらったり、仲間との練習も楽しかった。楽器もみんな自前で私は先輩からエレキギターを譲り受けて始めた。ベンチャーズも流行りはじめていたがレパートリーにはまだ入っていなかったと思う。

昭和 39 年クラブの最初の夏の合宿は確か 2 期阿部先輩の故郷宮城県の松島の近くの宮戸島だったと思う。練習はお寺で行い、合宿も一日中練習づけだったが楽しかった。近くの食料品店で大和君にこの飲み物知っているかと言われ、この合宿で初めて、コカ・コーラというアメリカ生まれの松やにくさい妙な味のする炭酸飲料を飲んだ。その後、流行の先端をゆく飲み物だとカッコをつけ無理をしてよく口にした。しばらく飲み続けると妙においしくなった。青春の味だった。翌年の夏には地元コカ・コーラ営業所でアルバイトをしすっかりファンになった。合宿の最後は地元の鳴瀬第一中学校で演奏会をさせてもらった。



翌 40 年 2 月春の合宿は、栃木県の塩原温泉で行われ、毎日仲間と温泉に入ったことを思い出す。

仕上げの演奏会は地元の喜連川中学校で行われた。この時は法政大学 OB でプロのギターリスト吉田耕造氏も賛助出演をして頂いた。吉田氏作曲の「我が道」はトレモロ連続の思い出深い曲だった。

写真はその時のもので、中央で燕尾服を着てギターを弾くのが吉田氏です。学生時代の一端を担い色々なことを学んだクラブ活動であった。

4 期 瀬川 昌充

平成 30 年度 OB・OG 会定期総会報告

平成 30 年 8 月 26 日 15 時から小金井キャンパスにおいて、榎本代表理事の司会で定期総会が始まり、以下の議事のとおり報告され承認されました。

- 1、あいさつ 市倉会長
 - ◎第 55 回定期演奏会（OBOG 合同）について
 - ◎役員改選
 - ◎ホームページおよび会報の充実
 - ◎会費および援助費のお願い
 - ◎仮称、オール法政 OBOG マンドリンクラブ

(旧本校のOBOGから交流の打診あり)

2、活動報告および計画 清水副会長

平成 29 年度から平成 30 年度まで報告

平成 29 年 4 月 20 日 (木) 現役 (新執行部) との打合せ

総会親睦旅行ゴルフの案内状の発送の件
セロ購入援助 80000 円

平成 29 年 6 月 15 日 定期総会等案内状発送

平成 29 年 8 月 26 日 (土) 定期総会小金井キャンパス

OB—7 名 現役—8 名
平成 30 年合同演奏会について

平成 29 年 10 月 24 日 (火) 富山市にて臨時総会

および親睦旅行・ゴルフ

平成 29 年 11 月 会報の発行

平成 29 年 11 月 18 日 (土) 第 54 回定期演奏会

平成 30 年 2 月 26 日 (月) 現役 (新旧執行部) との打合せ

(合同演奏会関係等)
楽器修理費および譜面台援助 60000 円

平成 30 年 4 月 20 日 (金) 現役との打合せ (合同演奏会等および総会
案内発送等 (榎本・田作))

平成 30 年 5 月 27 日 (日) 合同演奏会本日から練習スタート

平成 30 年 6 月 1 日 (金) 定期総会等案内状発送

平成 30 年 8 月 2 日 (木) 法政大学 MC・OB (旧本校) と顔合せ
HTMC (4 名) HMC (4 名)

平成 30 年 8 月 26 日 (日) 定期総会小金井キャンパス
OBOG—8 名 現役—3 名

平成 30 年 10~11 月頃 会報の発行

平成 30 年 11 月 6 日 (火) 愛知県知多美浜市にて臨時総会
および親睦旅行・ゴルフ

平成 30 年 11 月 24 日 (土) 第 55 回定期演奏会 (合同演奏会)
OBOG の参加者 20 名程度

3、会計報告 栗原理事 (会計) 別紙のとおり

佐藤理事 (会計監査)

4、役員改選 全員継続 (ホームページ掲載)

5、HTMC 会報の原稿募集 氏名・期 (入学年度) 800~1200 字程度

送付先 HTMC メールアドレス htm c 2006@htm c

平成 30 年 9 月 30 日まで 平成 30 年 10 月頃発行予定

- 6、仮称 オール法政 OBOG マンドリンクラブ等について
旧本校のマンドリンクラブのOBからHTMCのOBOGと
交流を図りたいとの連絡あり。今後再度交流を図っていく。
- 7、現役からのOBOG会に対する要望等について
第 55 回定期演奏会のチラシを八王子やさくらMCの演奏会のプロ
グラム等で配布（観客動員のため）・定期演奏会のステージ花
他に別途要望等連絡するよう伝えた。OBOG との連絡をメールで行
ったかどうか？
- 8、その他 50 年記念誌（CD の）データの更新（55 年）
※ホームページの周知と活用
OBOG 会・現役の状況等をホームページに常時掲載していま
すので、ぜひ閲覧してください。
法政大学工学部マンドリンから OBOG の方はこちらへから

※ 平成30年度 OBOG 会年会費の納入について

平成30年度の年会費 3000 円ご協力お願いします。

会計年度は、毎年 4 月 1 日から 3 月 31 日までです。

法政大学工学部マンドリンクラブ OBOG 会

郵便局からの送金の場合 記号10050 番号27134651

銀行からの送金の場合 店名008 店番008

普通預金口座番号2713465

年会費 3,000 円です

※ 援助費のお願いについて

後輩たちに、マンドリンクラブに少しでも役立つよう援助したいと思いま
すので、ご協力をお願いします。

3,000 円以上振り込んで頂いたものを援助費とします。

例 5,000 円（年会費 3,000 円・援助費 2,000 円）

※ 会員のみなさまへ

ホームページを閲覧願います。

法政大学工学部マンドリンクラブから
OBOG の方はこちらへ

第 55 回定期演奏会のお知らせ

日時：2018 年 11 月 24 日（土）

場所：小金井宮地楽器ホール 大ホール

〒184-0004 東京都小金井市本町 6-14-45

TEL 0423-380-8077 FAX 042-380-8078

開場時間： 17：30

開演時間： 18：00

曲目：第 1 部 ・組曲「瑞木の詩」より第 2 楽章「森の住人たち」

作曲：末廣健児

・祈り for Mandolin Orchestra 作曲：堀雅貴

・明日への序章 作曲：末廣健児

第 2 部 ---現役ステージ---

・Oriental Wind 作曲：久石譲 編曲：谷原佑馬

・マンドリンオーケストラのためのシンフォニエッタ

「森の精霊」より第 3 楽章「樹の精霊」

作曲：小林由直

---OB・OG、現役合同ステージ---

・願いの叶う本 作曲：丸本大悟

・RURU for Mandolin Orchestra

作曲：湯浅隆、吉田剛志 編曲：御崎恵

・「天国と地獄」序曲

作曲：オッフエンバック 編曲：高梨芳臣

第 3 部 ・残された時間 作曲：末廣健児

・組曲「杜の鼓動」より第 3 楽章「街の灯」 作曲：丸本大悟

